

2. 指標設定

成果指標	指標名	有害鳥獣被害防止	目標年度	指標の設定理由			
	数値	—		H27	総合計画／後期計画(4-1-2)重点施策3による		
活動指標	指標	a 電気柵等の被害対策事業	b	有害鳥獣捕獲事業	c	猟友会等の育成	d
	数値	目標	—	目標	—	目標	—

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H21	H22	H23
有害鳥獣被害防止		—	—	—

活動指標名	単位	H21	H22	H23
a 電気柵等の被害対策事業	千円	17,581 千円	16,998 千円	25,506 千円
b 有害鳥獣捕獲事業	頭	392 頭	1,235 頭	2,471 頭
c 猟友会等の育成	ヶ所	405 人	412 人	422 人
d		—	—	—

4. 課題と対応

課題
有効な対策が無く、被害の抑制につながらない
対応（改善点等）
豊後大野市鳥獣被害対策協議会で引き続き検討する

5. 事業費・・・H21～H23（決算額）、H24（予算現額）

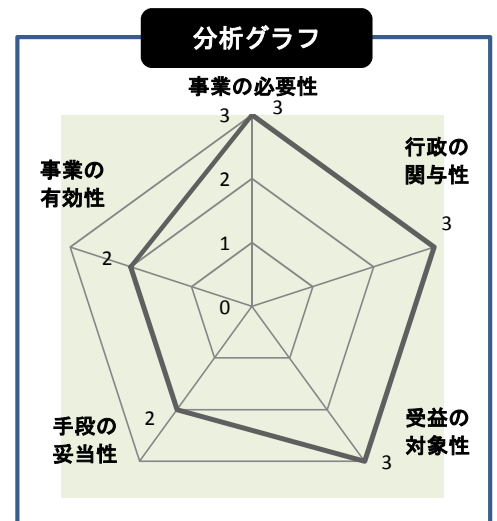
決算額（千円）		H21	H22	H23	H24
		21,423	28,236	46,055	47,458
うち経常経費		8,938	11,238	6,541	7,355
財源内訳	国費				
	県費	3,105	11,074	24,536	22,882
	市債				
	その他				51
	一般財源	18,318	17,162	21,519	24,525
うち経常		3,985	7,436	4,474	5,255
事業費に係る人件費		8,106	8,059	8,858	9,017

6. H25年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
農林産物の被害対策費については必要である

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 農林業は市の柱であり、被害防止については、積極的に関与する必要がある
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 農林業は市の柱であり、被害防止については、積極的に関与する必要がある
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 全ての農林産物に共通の課題である
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	2 抜本的な対策が無いため、被害防止に展望が見えない
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 抜本的な対策が無いため、被害防止に展望が見えない



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	有効な鳥獣対策に向け施策の検討を行うこと